

第2回

淡水ガメ情報交換会

この国には
守らなければいけないカメがいる

原画・歌川広重「名所江戸百景 深川萬年橋」

主催・認定NPO法人 生態工房
東邦大学理学部 地理生態学研究室
神戸市立 須磨海浜水族園

2014年

12/20(土) 21(日)

会場：東邦大学 習志野キャンパス (千葉県船橋市)

参加費 (2日間、要旨集込)：一般 3,000 円 学生 1,500 円 ※当日参加は 500 円追加
12/20(土)懇親会：一般 4,000 円、学生 2,500 円、高校生以下 1,000 円

◆シンポジウム、口頭発表、ポスター発表、ブース出展 あります。

協力 千葉県ニホンイシガメ保護対策協議会



▶WEBフォームよりお申し込みください。

http://www.eco-works.gr.jp/kk_2015.html

<発表したい人> ※発表者は11月10日までに要旨の提出をお願いします。

シンポジウム「アカミミガメ最新情報」口頭発表
発表時間 15分または20分、発表者は参加費無料
発表タイトル締め切り → 10月20日

一般口頭発表、ポスター発表

発表タイトル締め切り → 11月3日

<参加だけの人> 申し込み締め切り → 12月19日まで。

近年、在来カメ類の生息地は河川改修や護岸工事、水質悪化などにより著しく劣化または消失しています。また、外来種ミシシippアカミミガメの蔓延や外来種のクサガメとニホンイシガメの交雑など、外来カメ類に関する様々な問題も深刻化しています。在来カメ類とその生息環境を保全するために、本会では各地で保全や外来生物防除に取り組む研究者、行政、NPO、市民等が集まって最新の情報や知見を持ち寄り、交流や議論を重ねながら、問題の解決策や各主体の行動指針を考えます。

12月20日(土) 午後

発表者公募型シンポジウム「アカミミガメ最新情報」

アカミミガメの分布や防除、最新の調査研究成果などを報告

コーディネーター：亀崎直樹（岡山理科大教授、須磨海浜水族園）

12月21日(日) 午後

企画シンポジウム

「房総発、未来へ残そうニホンイシガメの里 ～生息域保全の重要性を考える～」

コーディネーター：長谷川雅美（東邦大教授）

※各タイトルは仮題です。

第1部 房総のニホンイシガメは今

房総における淡水性カメ類の現状 小賀野大一（千葉県野生生物研究会）

南房総におけるアライグマの分布と在来生物への影響評価 山崎響子（東邦大地理生態学研究室）

ニホンイシガメ保護対策協議会の成立と活動紹介 近藤めぐみ（NPO 法人カメネットワークジャパン）

第2部 房総から全国へ。ニホンイシガメの里を守るために

種分布モデルを用いた淡水生カメ類の分布予測と種間相互作用の検証

加賀山翔一（東邦大地理生態学研究室）

ニホンイシガメの分布予測から保全対策を考える 高橋洋生（一般財団法人自然環境研究センター）

アクセス

◆JR 総武線「津田沼駅」北口4番・5番バス乗り場から「三山車庫」「二宮神社」「八千代台駅」「日大実靱」行きのいずれかに乗車、約10分「東邦大学前」下車。徒歩約2分。

◆京成本線「京成大久保駅」北口より徒歩10分。

